

2017 **11**月**12**日（日）

13:30 ~ **17:00**

（開場13:00）

海外移住と文化の交流センター

（神戸市中央区山本通3-19-8）

原著出版から30年の時を経て、
ついに邦訳なる！

プログラム

13:30～13:40

- ・主催者あいさつ 小笠原 博毅（神戸大学）

13:40～15:20 第1部

- ・訳者より邦訳刊行の経緯

田中 東子（大妻女子大学）、山本 敦久（成城大学）、
井上 弘貴（神戸大学）

- ・講演 鈴木 慎一郎（関西学院大学）

- ・講演 酒井 隆史（大阪府立大学）

第1部司会：辛島 理人（神戸大学）

15:20～15:40 休憩

15:40～17:00 第2部

- ・パネルディスカッション

鈴木慎一郎、酒井隆史、田中東子、井上弘貴、山本敦久
+ 稲垣 健志（金沢美術工芸大学）

- ・全体討論

第2部司会：栢木 清吾（神戸大学）

ポール・ギルロイ 著

『ユニオンジャックに黒はない
― 人種と国民をめぐる文化政治 』（月曜社）

邦訳刊行記念

シンポジウム

「ユニオンジャックに黒はない」。一九七〇年代イギリスの極右勢力が移民排斥のスローガンとしたこの文句は、同時に、「だからなんだってんだ！」というカルチュラル・スタディーズの立ち位置を鮮明に表す合言葉ともなった。

参加申し込み：神戸大学国際文化学研究推進センター 公式ウェブサイトから（<https://goo.gl/bSnSkf>）

問い合わせ先：栢木 清吾（kayanoki@harbor.kobe-u.ac.jp）

主催：神戸大学国際文化学研究推進センター 2017年度研究プロジェクト「ポストBrexitの文化状況 ―身体・都市・メディア・資本へのグローバルな影響と意味」（代表者：小笠原博毅）

後援：カルチュラル・スタディーズ学会